

<p>教育・保育理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も友だちも大切に作る心の育成 ・学びの芽の育成 ・自分の可能性や能力を十分に発揮できる力の育成
--

<p>園の重点項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲のさまざまな環境に好奇心や探求心を持って主体的に関わり、充実感や満足感を味わう体験を大切にする。
--

<p>令和7年度 重点内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人を大切な存在と受け止め、お互いを認め合う心を育てる。 ・健康で安全な生活を作り出せるよう、しなやかな心と体を育てる。 ・五感を通して自然を身近に感じられる教育・保育に取り組む。 ・地域の資源を活かし、さまざまな人やものとふれあうことを大切にする力を育てる。

重点内容	重点内容に向けた具体策	評価項目	自己評価	こども園関係者評価
<p>てい一 るをと人 。認受一 めけ人 合止を うめ大 心、切 をおな 育互存</p>	<p>一人一人のこどもの気持ちを受け止め、共感しながら信頼関係を築いていく。</p> <p>友だちとの思いや気持ちに気づけるようにし、お互いを認め合える関係を作っていく。</p>	<p>一人一人のこどもの家庭状況を理解し、園児が安心して心地よく過ごせるようにする。</p>	<p>A ・今年度は、保育時間が長くなった園児が多く、大人との関係を大切にし、こども一人一人の要求や気持ちを受け止め、信頼関係を築いてきた。乳児は、生活面において担当制を取り入れることで安心して過ごし、愛着関係を築いていった。幼児においても気持ちを受けとめ思いを尊重しながら丁寧にやり取り、個性を尊重しながら個々にあった関わりをすることで、信頼関係と自尊感情を育てることができた。その関わりを土台として、安心して友だちと関わり、あそびが広がり集団の中で自己を発揮しようとする姿が見られる。</p>	<p>A ・乳児は担当制を取り入れたりと、小集団で過ごす等の取り組みをしていた。 B ・幼児は、一人一人の気持ちを受け止め共感していることで信頼関係が築かれている。また、こどもたちも楽しく過ごせている。</p>
		<p>一人一人のこどもの思いを大切にしたいうえで、相手の思いに気づける関わりをする。</p> <p>・自尊感情を高め、お互い尊重し合い、育ち合う集団作りをする。</p>		
<p>るや作健 かり康 んで出 心せ安 とる全 体よな をう生 育し活 てなを</p>	<p>安心・安全な環境づくりに努め、遊具の遊び方やルールを知らせ安全に遊べるようにする。</p> <p>リズム遊びやアートヨガ、運動遊びを積極的にを行い、健康でしなやかなからだづくりを行う。</p>	<p>・遊びを通して安全についての構えを身につけ、危険な場所や物事等が分かり安全についての理解を深めるようにする。</p>	<p>A ・乳児においては、少人数で場所を広く使うようにし、リズム遊びや体操、ボール遊びやフープあそびなど全身を使った遊びを取り入れた。幼児においては、保健指導から安全についての話をきいたり、2階での生活の仕方やルールをこどもたちと一緒に考えて過ごした。 B ・園庭に出る機会も多く設けるようにし、準備体操や年齢にあった運動遊具なども取り入れて遊ぶ中で楽しく体を動かせるようになった。しかし、楽しい気持ちが押さえられず周囲が見えなくなってしまうことや、危険な行動になってしまうこともあった。</p>	<p>A ・こどもたちが体を使ってしなやかな身体づくりを行うために園庭で運動遊びやリズム遊びを行っているが、園庭だけでなく自然の中で身体を動かすことも必要と感じた。 B ・身体を動かすことの喜びや運動好きの素地づくりは、小学校での学習意欲や姿勢保持につながる。</p>
		<p>・こどもの意欲や探求心を引き出す人的環境(やりたい気持ちの尊重・問いかけや誘い言葉)を大切にする。</p> <p>・発達過程に基づいたあそびの提供をおこなう。</p> <p>・体を動かす気持ちよさを体験し、自ら体を動かそうとする意欲が育つようにする。</p>		
<p>り感五 組じ感 むらを 。れ通 るし 教て育 自・然 保を身 に近 取に</p>	<p>散歩や菜園活動に計画的に取り組み、季節の環境を大切にする。</p> <p>環境づくり(ビオトープ)を通してSDGsを意識した取り組みをする。</p> <p>菜園活動を通して食育活動につなげる。</p>	<p>・自然とのふれあいや実体験を大切にしたい遊びや生活を保障する。</p>	<p>A ・園庭や散歩に行く機会をふやしていくことで、意欲をもって探索活動を楽しんでいた。また、ビオトープの中にも入っていく中で、安心して探索活動ができ草花や落ち葉、メダカなどに直接見たり触れたりすることで、より興味や関心が深まっていた。こどもたちが探索活動の中で興味を持ったものを使って、制作をしたり、園内研修で学んだ技法を伝えることでこどもたちの主体的な気持ちが高まり、継続した教育・保育が行うことができた。 A ・菜園活動においても、気温や天候、土や肥料などの加減で作物の育て方の難しさをこどもと共に保育教諭も学んだ一年であった。そのなかでも収穫したもので、実際にクッキングをしったりしていくなかで食べ物の大切さを学んだり、食べる意欲へとつながった。 B</p>	<p>A ・園内のビオトープでの活動は、こどもたちの興味につながったり、小学校へ向けての生活科や理科の学びの芽となっている。また、ビオトープの様子などは保護者にわかりやすいようにするとよい。 B ・SDGsの取り組みでは、わかりやすいように可視化していくと良いと思う。 A ・菜園活動では、年間を通して花や野菜などを育て収穫の喜びや食べることへの意欲につながっている。</p>
		<p>・こどもたちの意欲や探求心など引き出す保育教諭の関わりを大切にする。</p> <p>・園内にビオトープを作り、植物やメダカなどの生き物に対する興味関心を深め、自然が身近に感じられるようにする。</p>		
		<p>・季節にあわせて様々な野菜や花の栽培をおこなっていく。</p> <p>・園内で菜園計画をたて、収穫する喜びを味わい食べ物の大切さを伝える。</p>		
<p>るこざ地 。とま 域を の大人 資切 源に も活 すの か力 ふし をれ、 育あ ささ うま</p>	<p>堺市の歴史や文化、公共施設等の特性を生かした教育・保育を行う。</p> <p>民間園との交流やこども園の教育・保育と小学校教育との円滑な接続を図るようにつなげる。</p> <p>保護者との信頼関係を築き、教育・保育内容を工夫して伝えこどもの成長を共有する。</p>	<p>・堺市の歴史や文化、園周辺のさまざまな地域の人々や公共施設等、豊かな環境を発達に応じた活動を通して、興味や関心を持てるようにする。</p>	<p>A ・園の周辺の公園・郵便局・消防署・小学校・図書館・地下鉄などに散歩に出かけこどもたちと一緒に見たり、遊んだりしていくなかで身近に感じることもできた。今年度は、もう一歩踏み込んで直接、見学依頼をすることで、より詳しく地域資源の内容や役割を知ることができ、こどもたちの興味や関心の世界を広げることができた。 B ・小学校との交流では、こどもたちが見学に行ったり、職員もオープン授業に参加し学びとなった。また、三園交流では、他の園との交流を通して小学校就学への意識も高めた取り組みもできた。 A ・様々な取り組みを通して、教育・保育内容を保育ドキュメンテーションで写真を掲載していくことで、より保護者と園での様子を具体的に伝えることもでき、こどもを中心に前向きな子育て支援ができた。</p>	<p>A ・地域資源を教育・保育の中に取り入れることは、こどもたちが成長していく中で大切なことである。地域の人と出会い、地域の園の友だちと出会う良い機会だと思う。 B ・キッズビューの活動記録を通して、保護者にこどもたちの姿や話を丁寧に伝えていくことで、家庭においても親子での会話につながり良いと思う。 A</p>
		<p>・こどもが小学校生活にスムーズに移行できるように民間園や小学校と交流の機会を持ったり、園での教育・保育内容や育ちを小学校に伝えたりして円滑な接続を図る。</p>		
		<p>・保護者の思いや考え方を尊重しながらも専門職として助言を行い、保護者が自己決定し子育てに前向きになれるよう支援する。</p> <p>・教育・保育内容をドキュメンテーションや映像を通して可視化し保護者にわかりやすく伝えていくようにする。</p>		
<p>上職 を員 め の 資 質 向</p>	<p>園内研修の充実を図り、教育・保育の質の向上につなげる。</p> <p>教育・保育の質の向上をめざし理念や目標について共有する。</p>	<p>・こどもの興味・関心などの実態や発達に即した、教材研究を行い、教育・保育内容の充実を図る。</p>	<p>A 園内研修で描画、制作、絵具のグループに分かれて教材研究を行った。職員一人一人が、それぞれのグループで話し合いを行い、その中で、自身のクラスの中でどのように実践していくか話し合い、学び、計画を立て、実践し、振り返っていくことで教育・保育の向上につながった。 A</p>	<p>A ・園内でのテーマを決めての研修や学びはとても良い内容だと思う。 A ・園外研修での学びをどのように教育・保育に生かしているのかを知りたい。</p>
		<p>・教育・保育理念や目標、重点項目について職員同士が共通理解をする。</p> <p>・教育・保育実践を振り返り、自己評価を通して質の向上を図り、専門性を高める。</p>		

今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法	園長より
<p>安心して過ごせる環境のもとで、自分の思いを素直に出しながら友だち関係を広げていく。</p>	<p>家庭や園などで自分の思いを伝え受け止めてもらいながら、愛着関係を深める。また、相手の思いや良さにも気づけるように仲立ちをしていくことで、友だち関係を広げ主体的にあそびや友だち関係が広がっていくようにする。</p>	<p>重点目標を大切にしながら各年齢発達を抑え教育・保育を進め、こどもたちに寄り添い安心・安全の教育・保育に取り組んできました。課題に出てきているように保護者と園で連携を取りながら、こどもたちが自分の思いを伝え、受け止めてもらい安心して活動の場として楽しく活動が取り組めるように入力していきたい。 教育・保育の取り組みについてもこどもたちがあそびの中で好奇心や探求心をもって主体的に関わり遊びこめる環境を作り、各年齢における育ってほしい力を大切にし、保護者にもわかりやすく可視化して伝えていきます。また、小学校とも連携を取りながらカリキュラム作成の話し合いを実施していきたい。</p>
<p>こども園の教育・保育と小学校教育との理解や共有をしながらか各年齢における教育を進め共通理解をしていく。</p>	<p>こども園における教育・保育を実際に小学校の先生に体験してもらいながら、こども園・小学校との接続に向けて全職員で取り組んでいく。</p>	